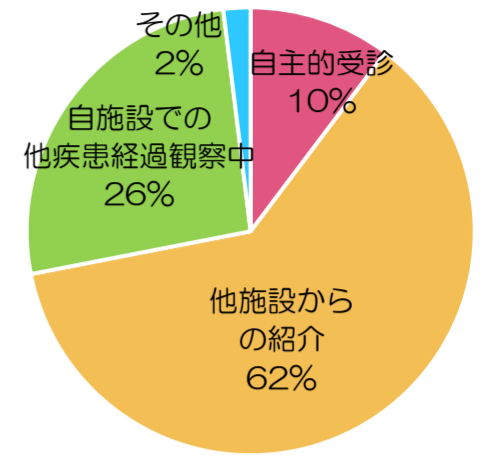


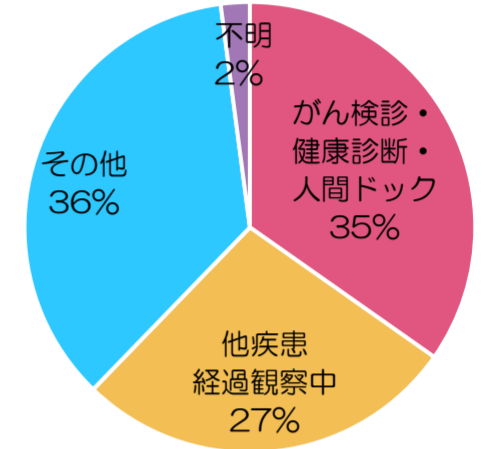
一胃(2019)

胃がんは、男性599件、女性267件で総数は866件、男性が女性の2.2倍を示す。
 年齢階級別には、65歳以上が男女とも8割強を占め、男女とも65-74歳が最も多い。
 ステージ別には、Ⅰ期が最も多く、その割合は6割強を占める。
 ステージ別の治療方法は、Ⅰ期では「手術」、「内視鏡」、Ⅱ期では「手術」、「手術/内視鏡+薬物療法」、Ⅲ期では「手術/内視鏡+薬物療法」、「手術」、Ⅳ期では「薬物療法」、「治療なし」が大半を占めるようになる。

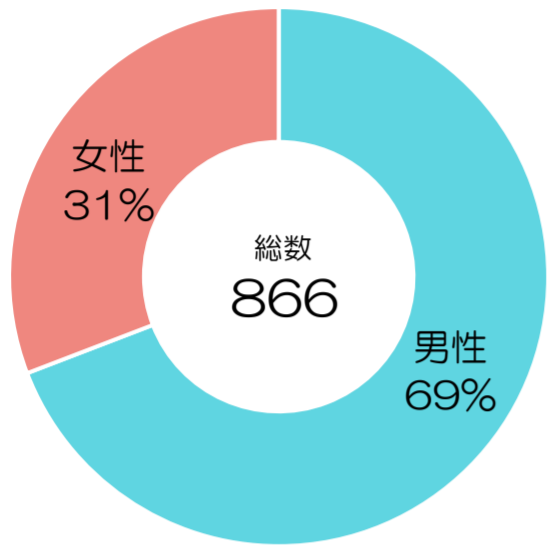
来院経路



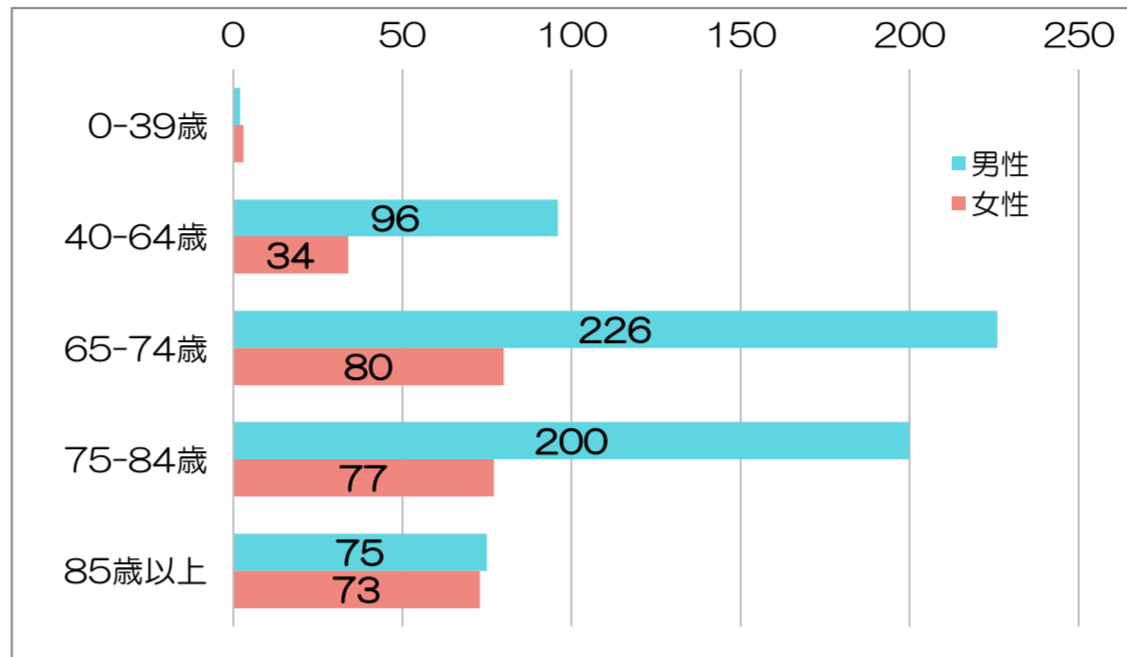
発見経緯



男女比



年齢別登録件数



治療前ステージ別登録数

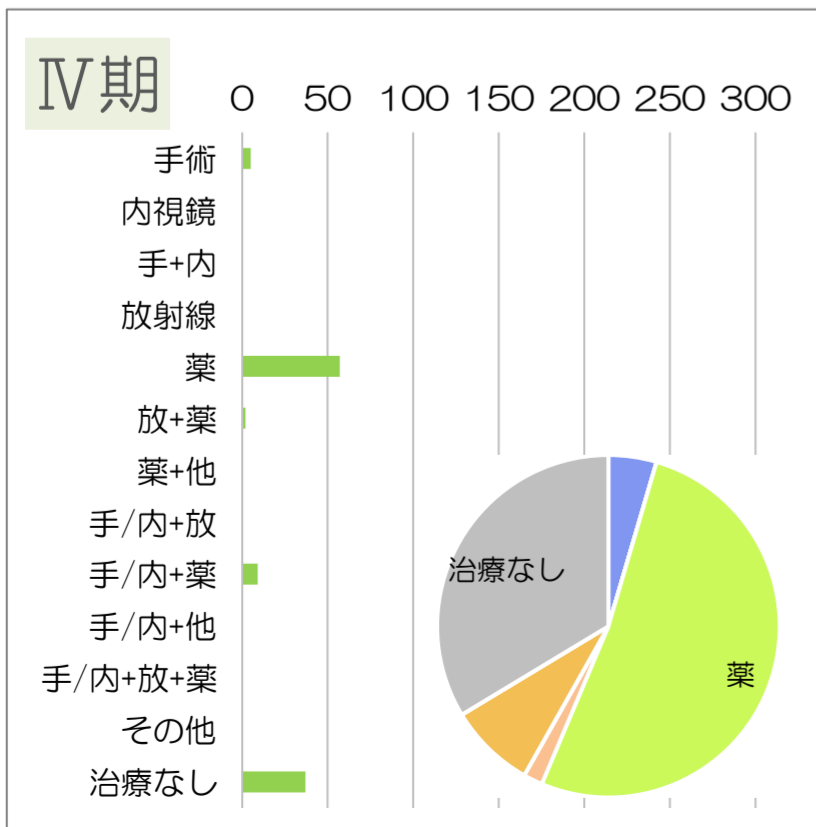
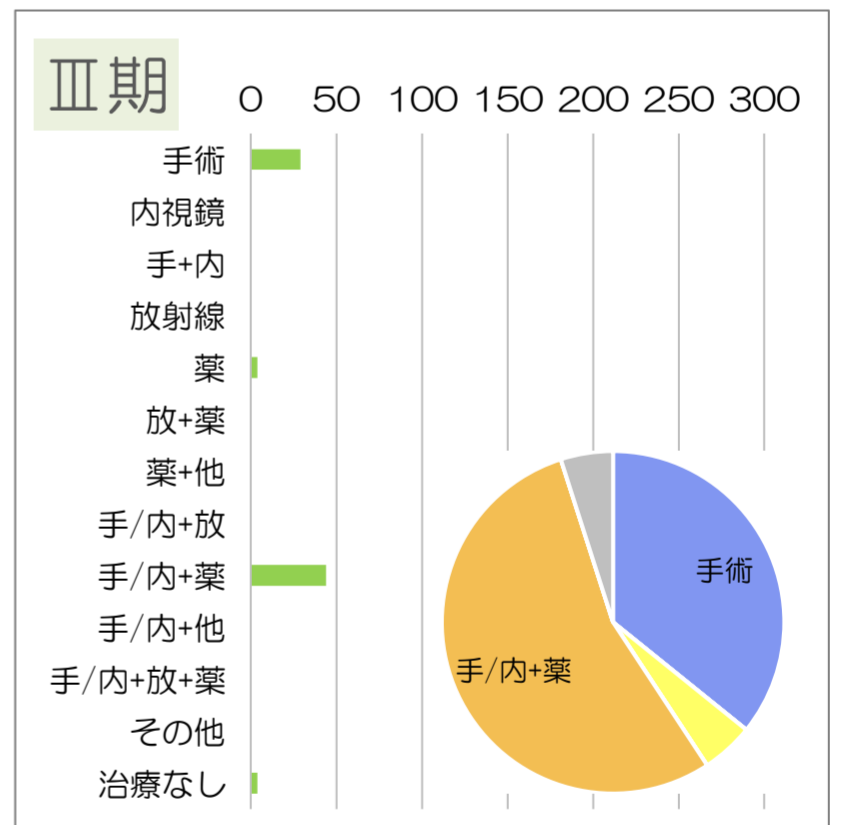
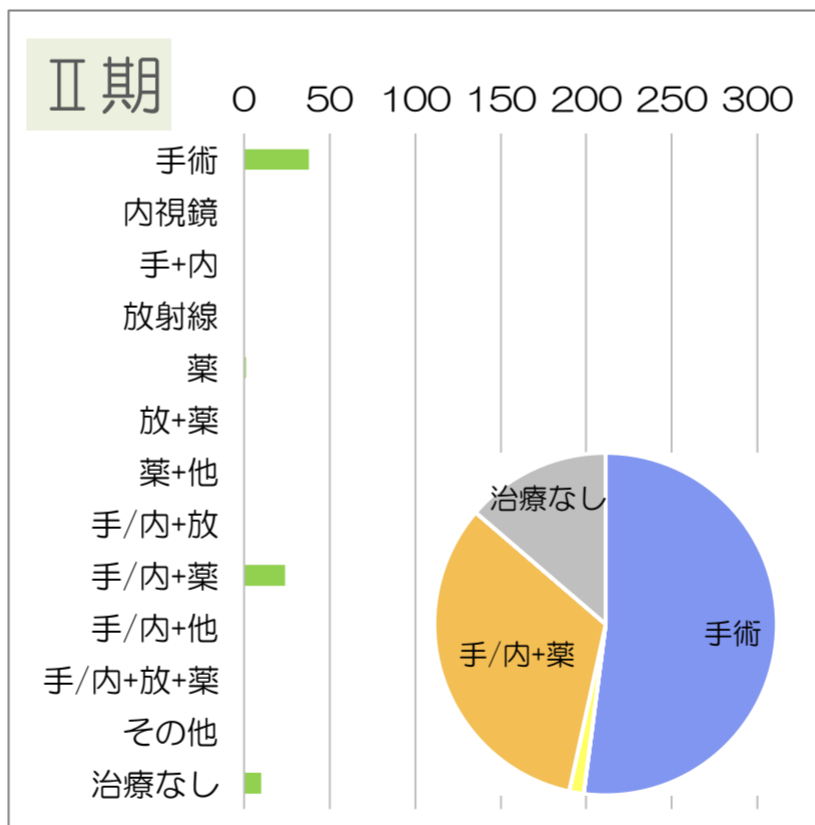
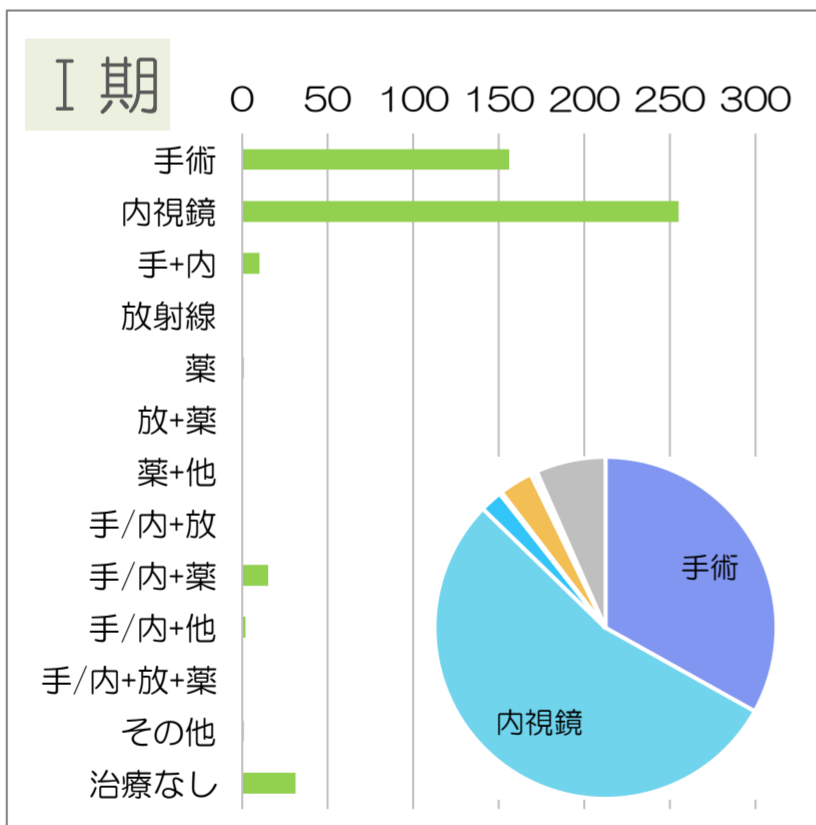
Ⅰ期	Ⅱ期	Ⅲ期	Ⅳ期	不明	合計
471	73	81	110	26	761

治療前ステージ別割合

* <ステージ別の集計数は（自施設で初回治療を行った症例）のみ>



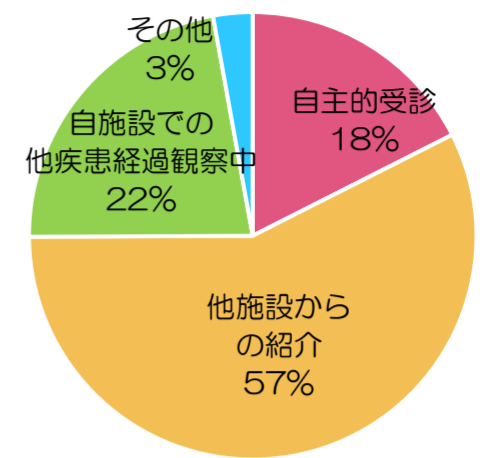
ステージ別治療方法



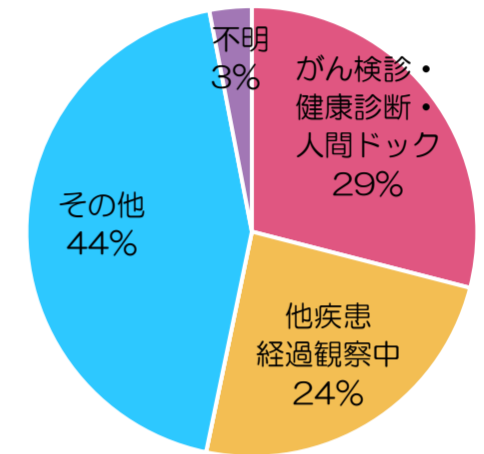
一大腸(2019)

大腸がんは、男性634件、女性455件で総数は1,089件、男性が女性の約1.4倍を示す。年齢階級別には、65歳以上が男性では7割強、女性では8割弱を占め、男性は65-74歳、女性は75-84歳が最も多い。ステージ別には、Ⅲ期が最も多く、次いでⅠ期、Ⅱ期、Ⅳ期の順。Ⅰ期は7.3%と最も少ない。ステージ別の治療方法は、Ⅰ期では「内視鏡」、Ⅱ期～Ⅳ期とも「手術」、「手術/内視鏡+薬物療法」、「手術/内視鏡+薬物療法」、「手術」など多様で大半を占めるようになる。

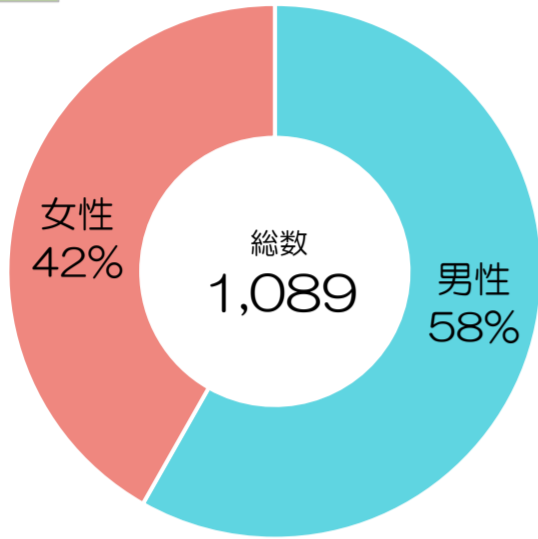
来院経路



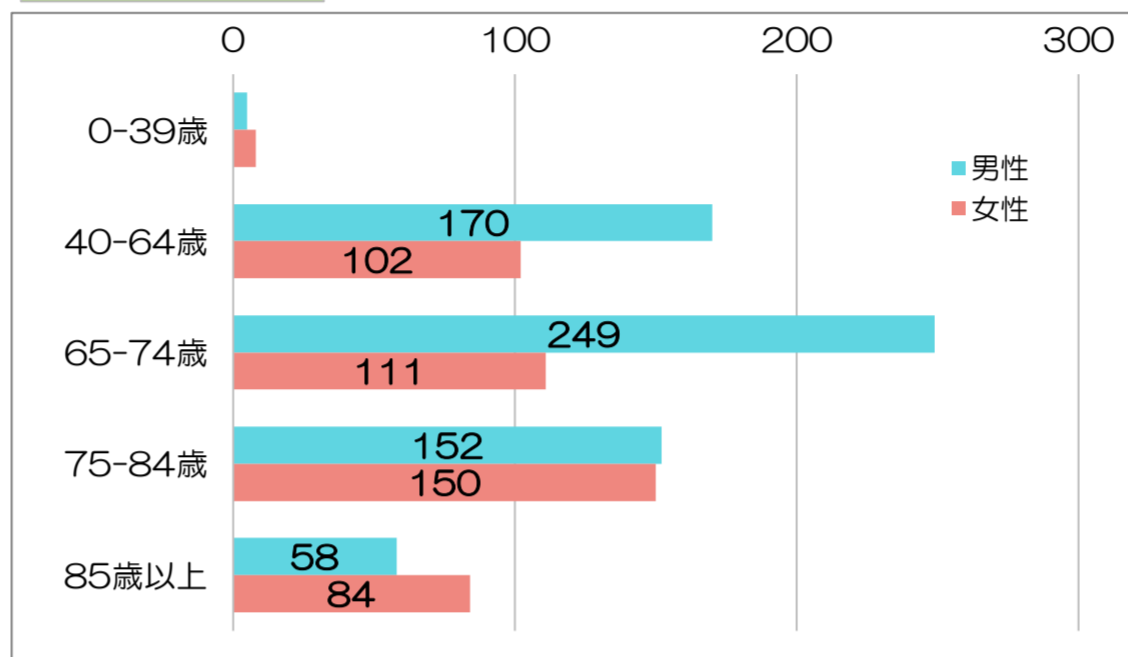
発見経緯



男女比



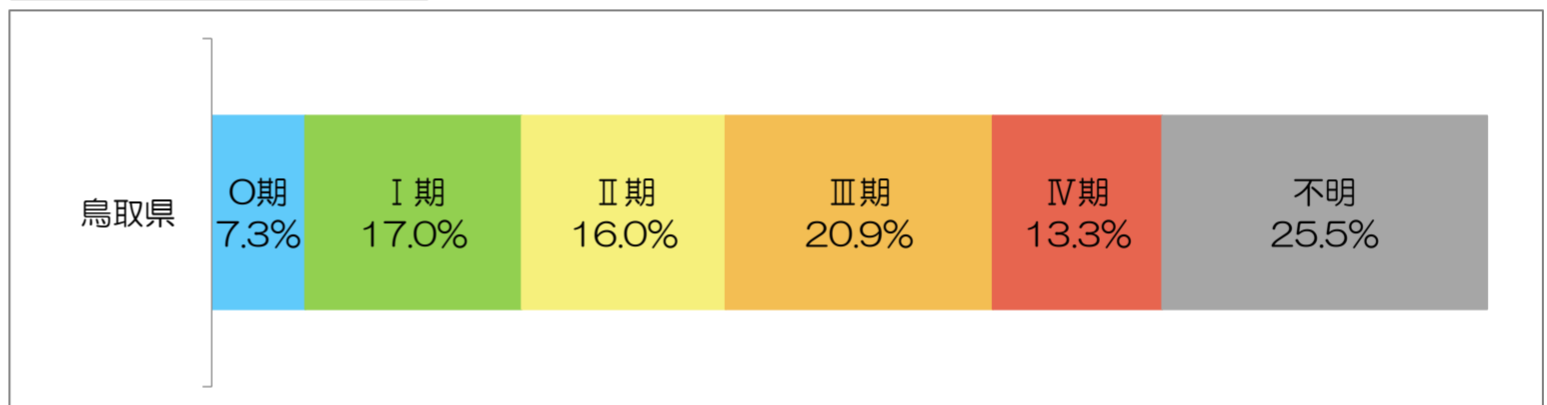
年齢別登録件数



治療前ステージ別登録数

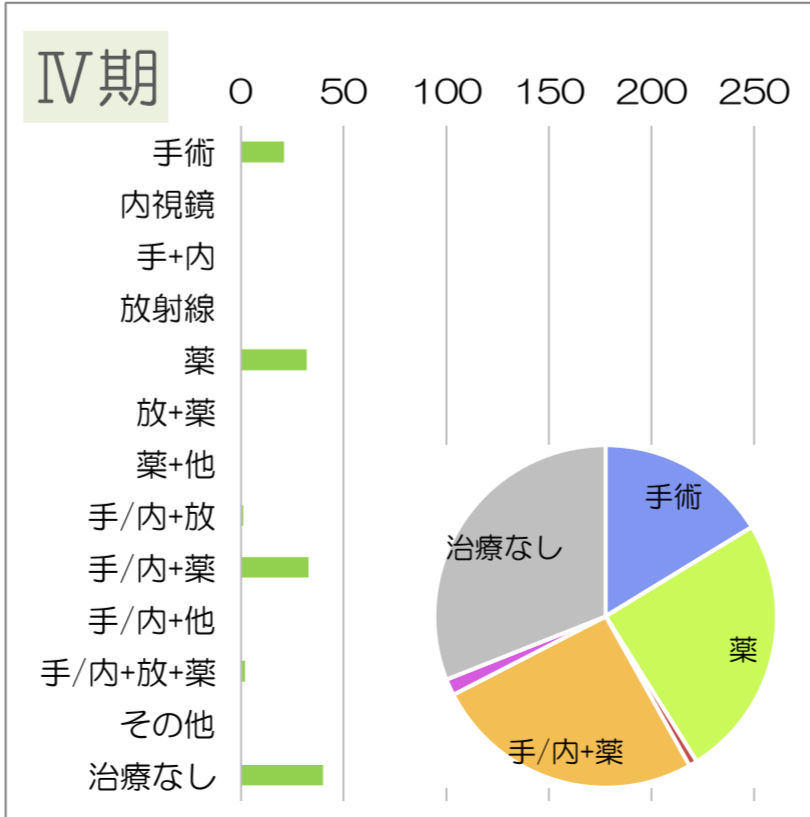
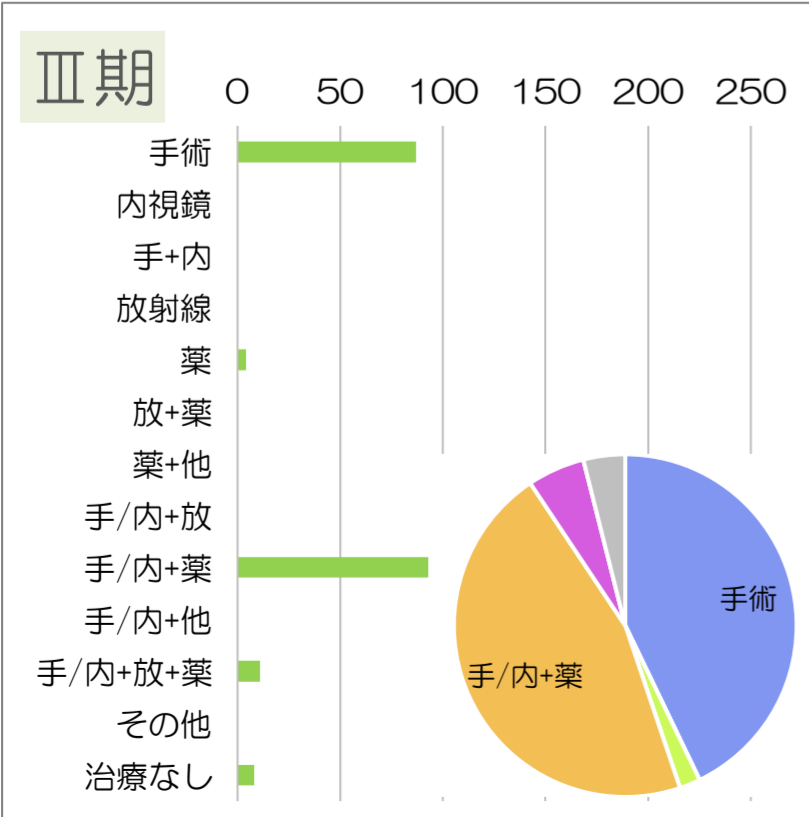
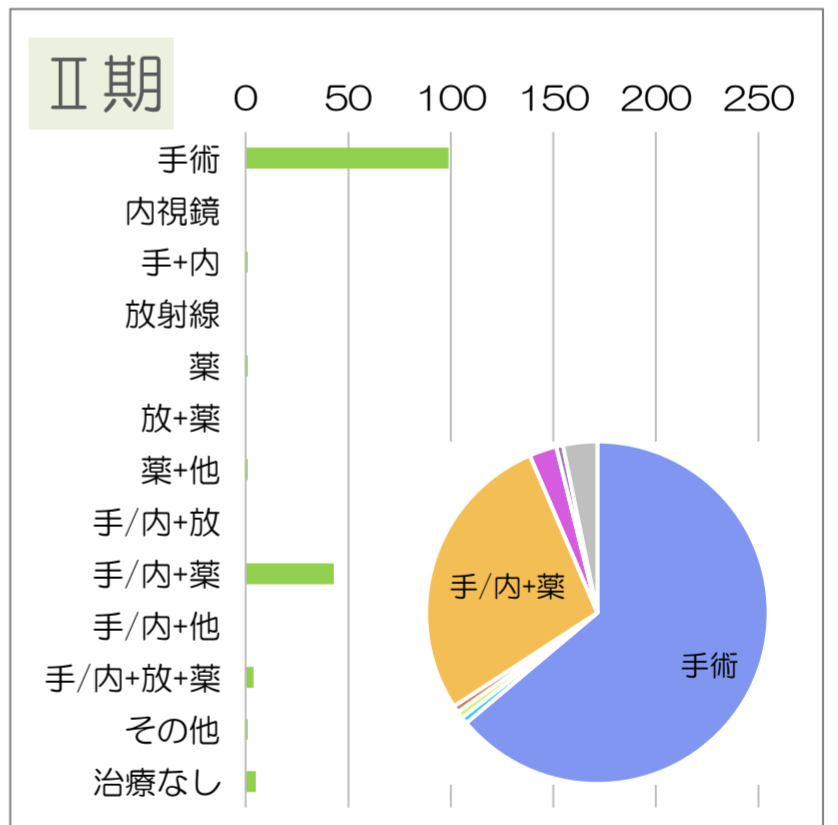
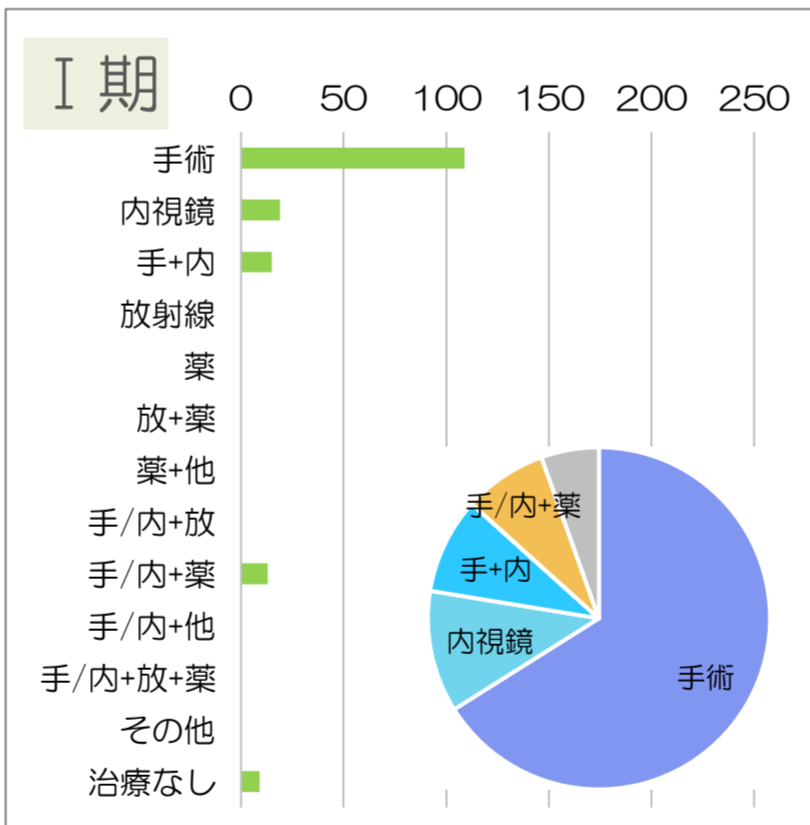
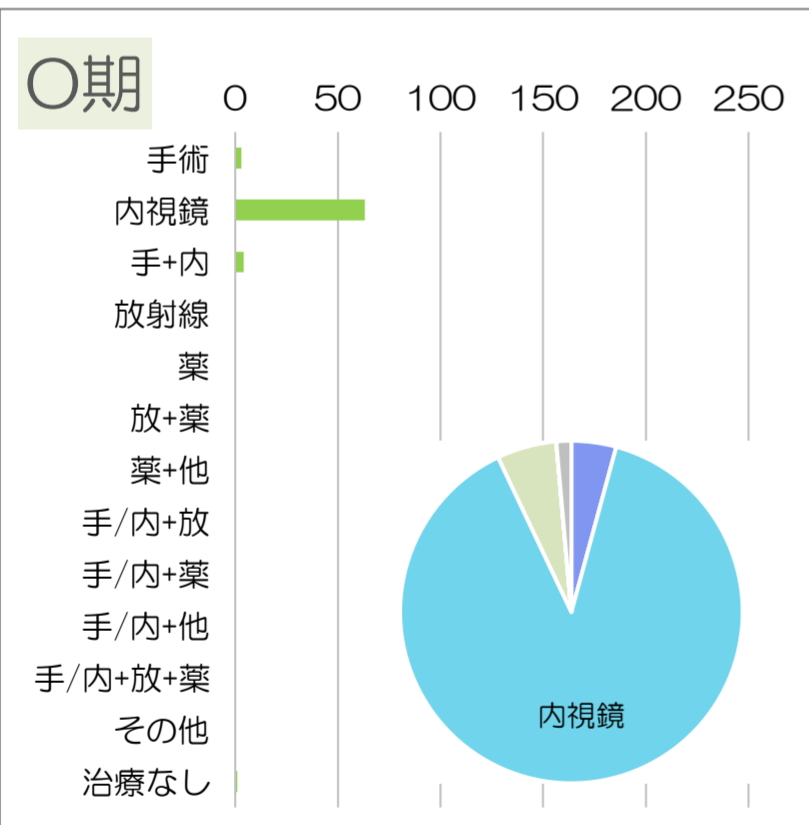
Ⅰ期	Ⅱ期	Ⅲ期	Ⅳ期	不明	合計
71	165	155	203	129	970

治療前ステージ別割合



* <ステージ別の集計数は（自施設で初回治療を行った症例）のみ>

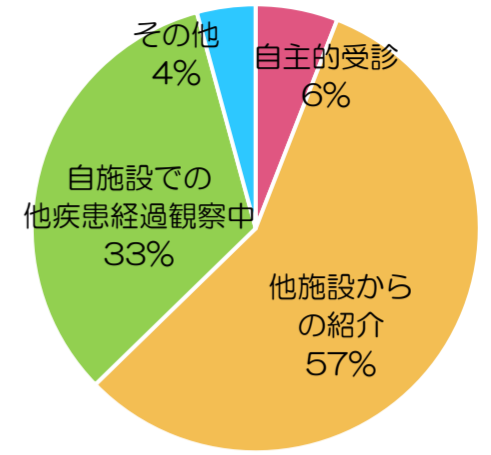
ステージ別治療方法



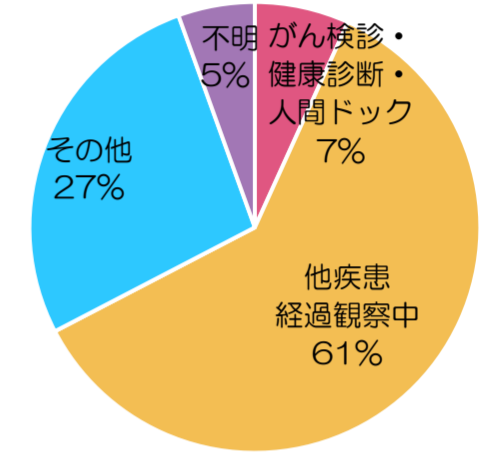
—肝臓(2019)—

肝臓がんは、男性170件、女性66件で総数は236件、男性が女性の2.6倍を示す。
 年齢階級別には、65歳以上が男性では79%、女性は95%を占め、男女とも75-84歳が最も多い。
 ステージ別には、Ⅰ期が最も多く、次いでⅡ期、Ⅲ期、Ⅳ期の順。
 ステージ別の治療方法は、Ⅰ期では「手術」、「薬物療法+その他」、「その他」、Ⅱ期では「薬物療法+その他」、「手術」、Ⅲ期では「薬物療法」、「治療なし」、「薬物療法+その他」、Ⅳ期では「治療なし」、「薬物療法」、が大半を占めるようになる。

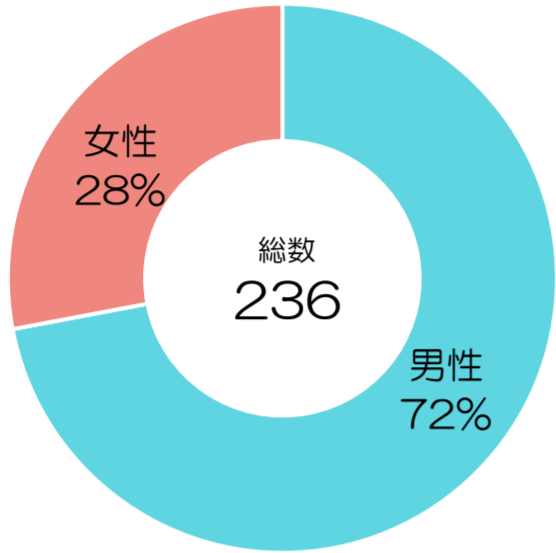
来院経路



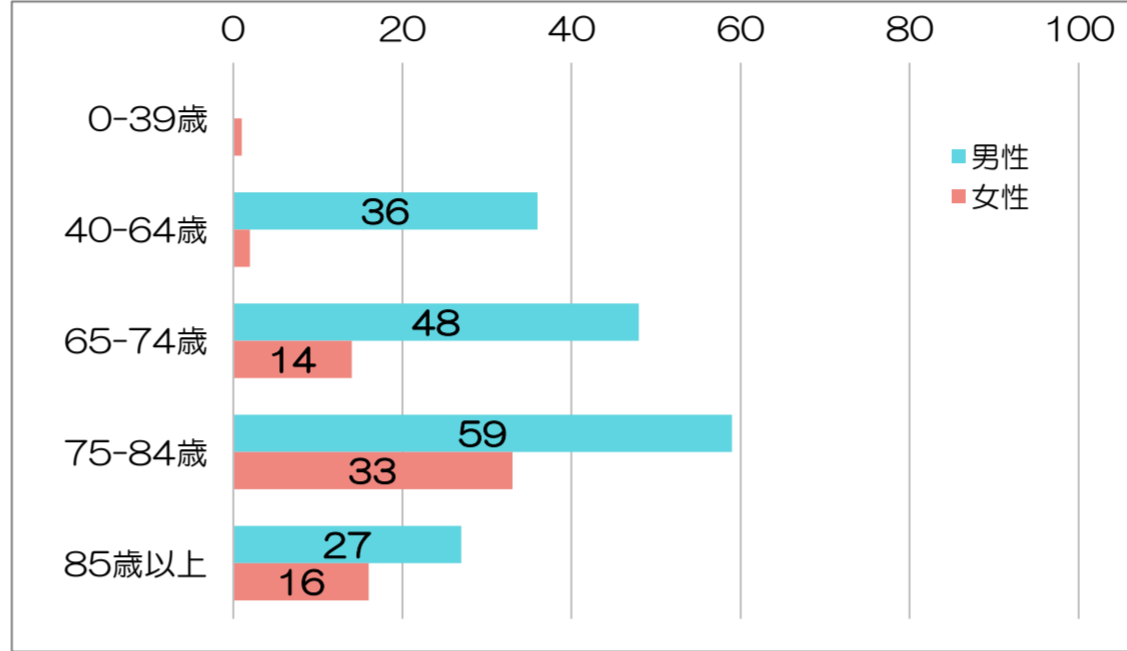
発見経緯



男女比



年齢別登録件数

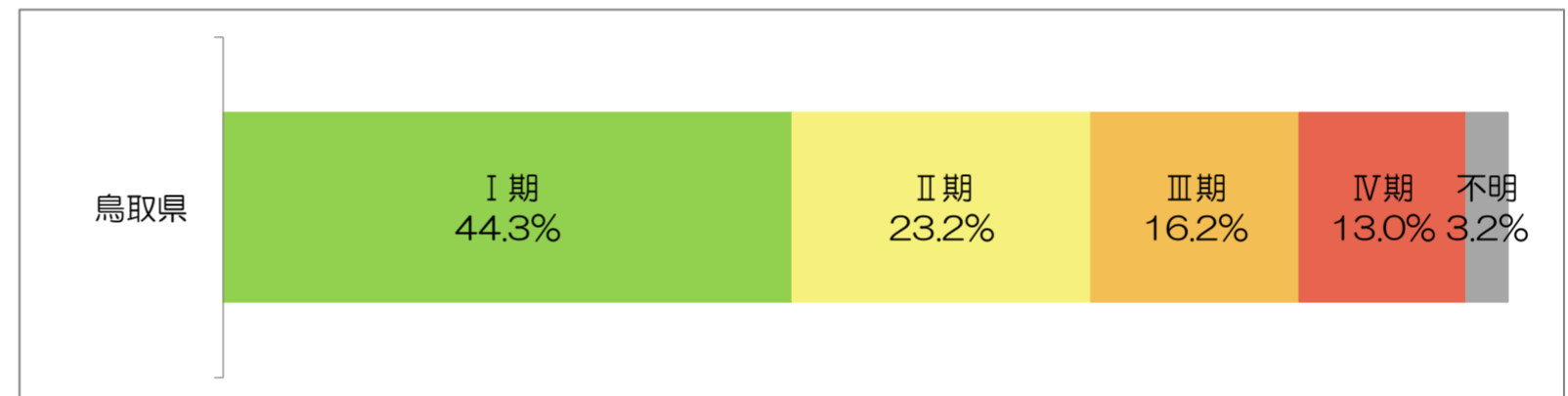


治療前ステージ別登録数

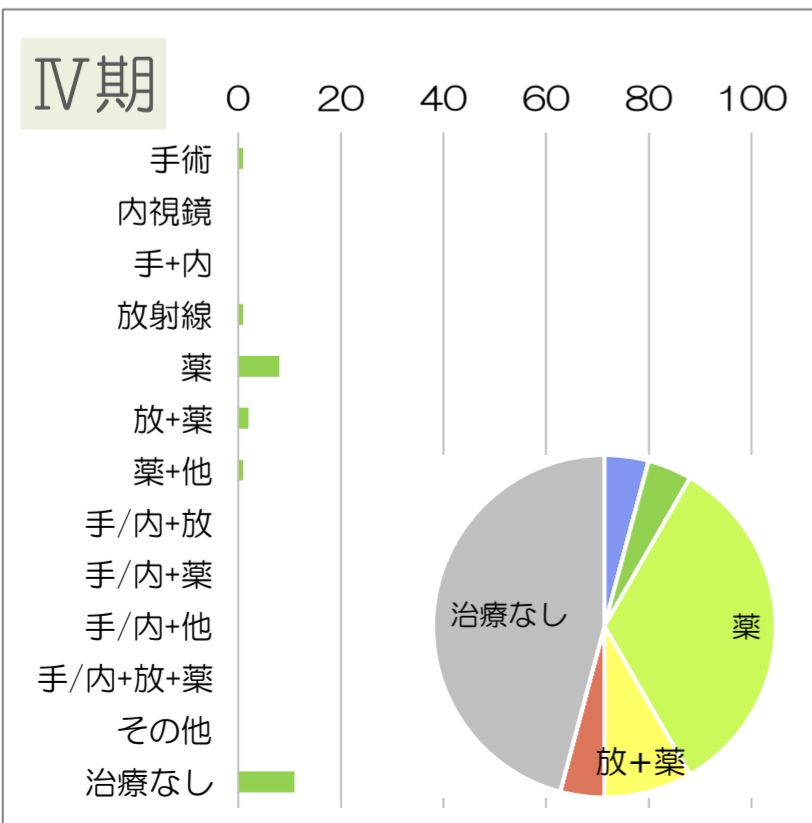
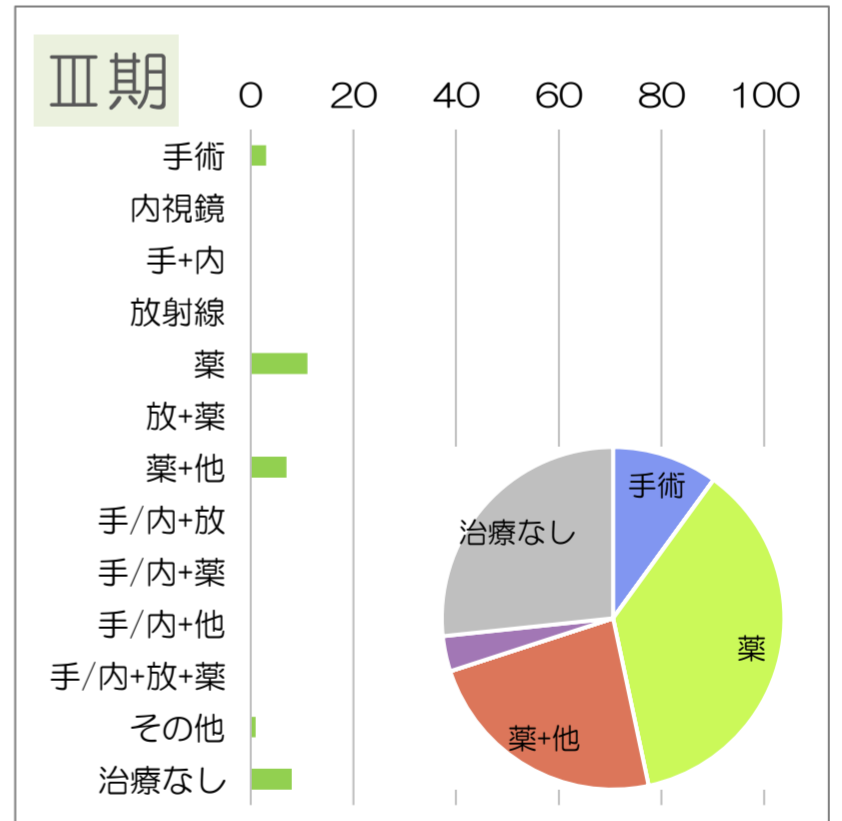
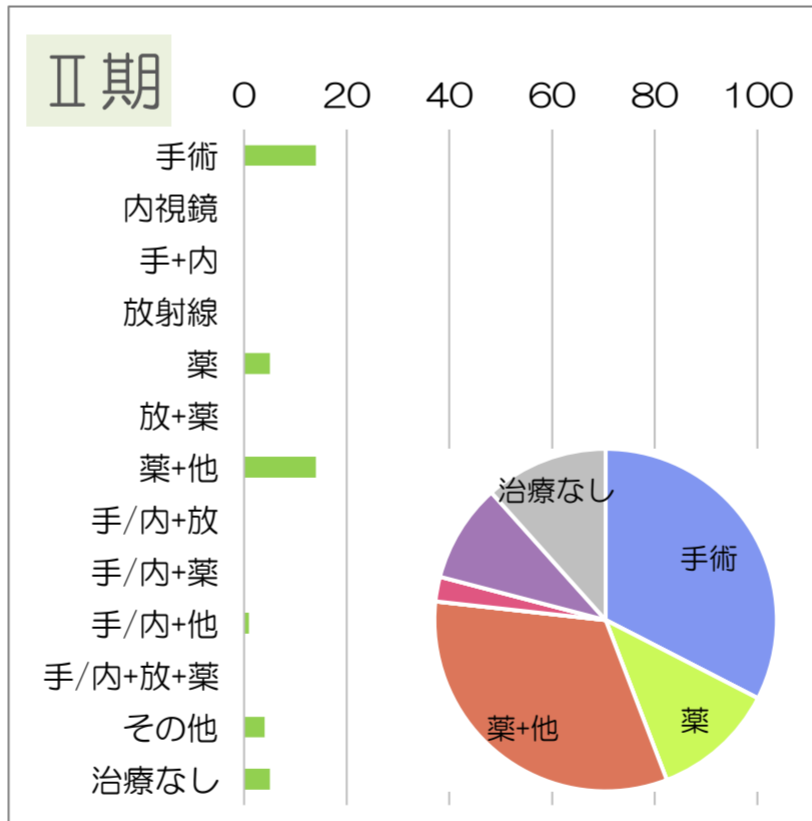
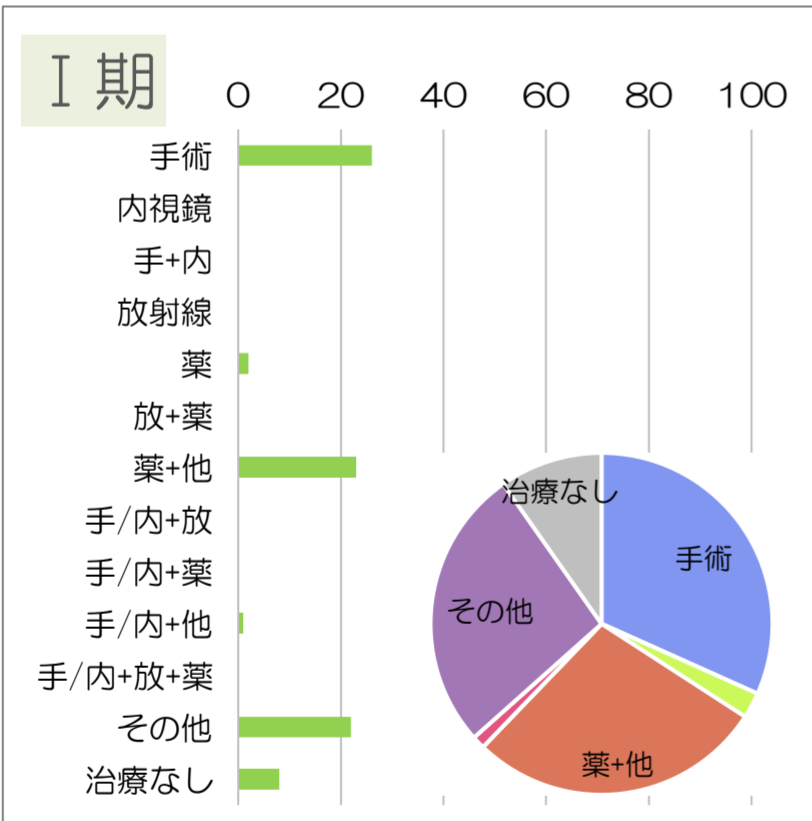
Ⅰ期	Ⅱ期	Ⅲ期	Ⅳ期	不明	合計
82	43	30	24	(4-6)	185

治療前ステージ別割合

* <ステージ別の集計数は(自施設で初回治療を行った症例)のみ>



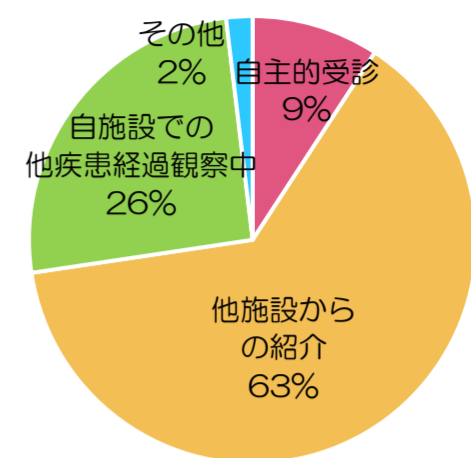
ステージ別治療方法



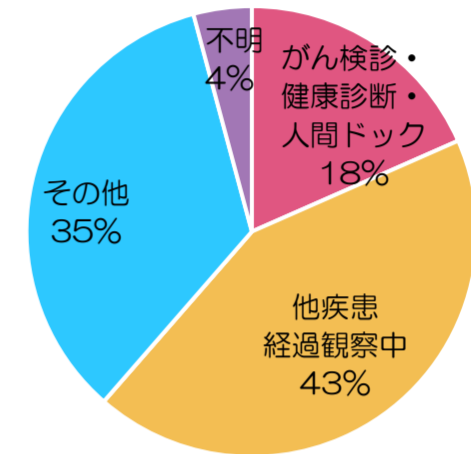
—肺(2019)—

肺がんは、男性580件、女性257件で総数は837件、男性が女性の2倍強を示す。
 年齢階級別には、65歳以上が男女とも80%前後を占め、男女とも65-74歳が最も多い。
 ステージ別には、Ⅰ期が42%、Ⅳ期が34%と多く、Ⅲ期が14%、Ⅱ期が6%と続く。
 ステージ別の治療方法は、Ⅰ期では「手術」、Ⅱ期では「手術」、「手術/内視鏡+薬物療法」、
 「治療なし」、Ⅲ期では、「放射線+薬物療法」、「薬物療法」、「治療なし」、Ⅳ期では、
 「薬物療法」、「治療なし」が大半を占めるようになる。

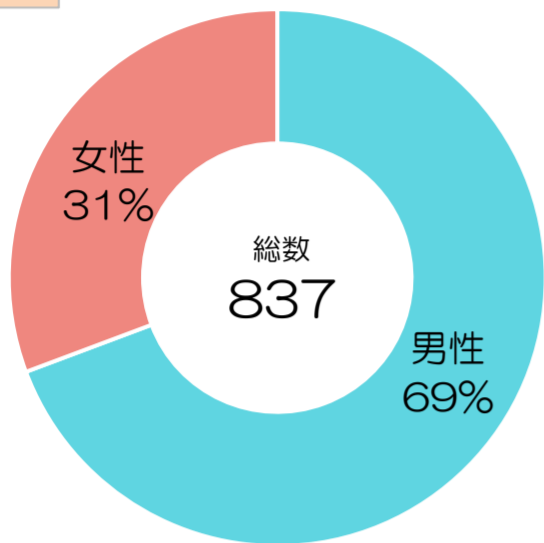
来院経路



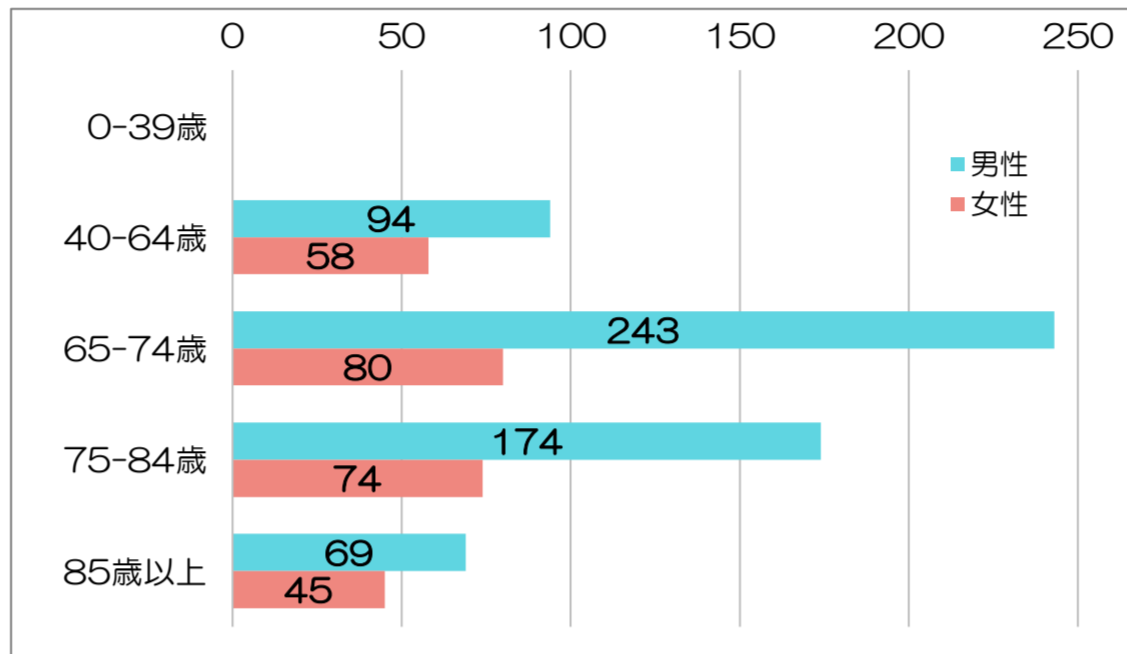
発見経緯



男女比



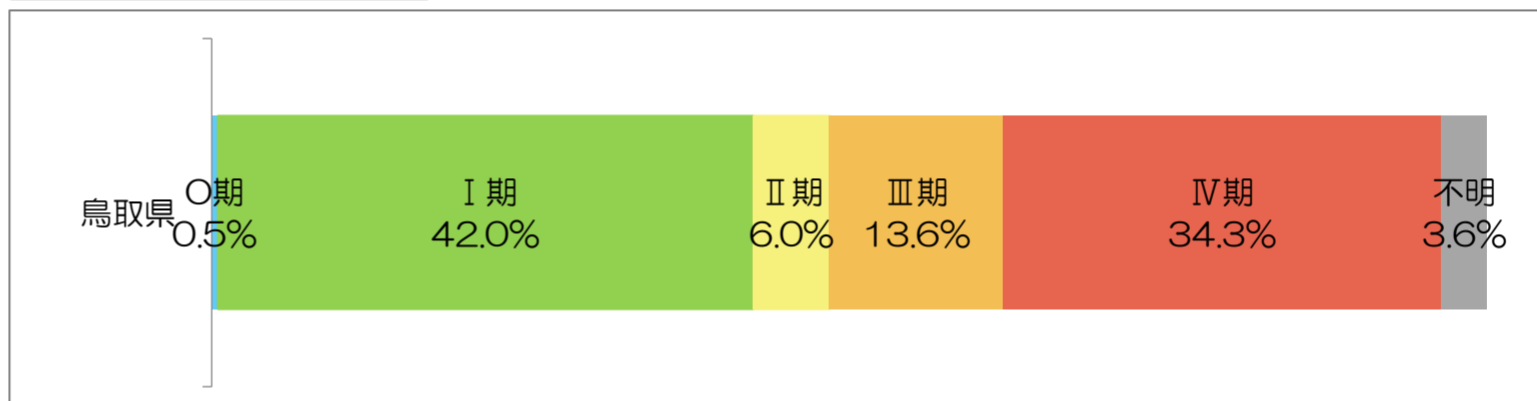
年齢別登録件数



治療前ステージ別登録数

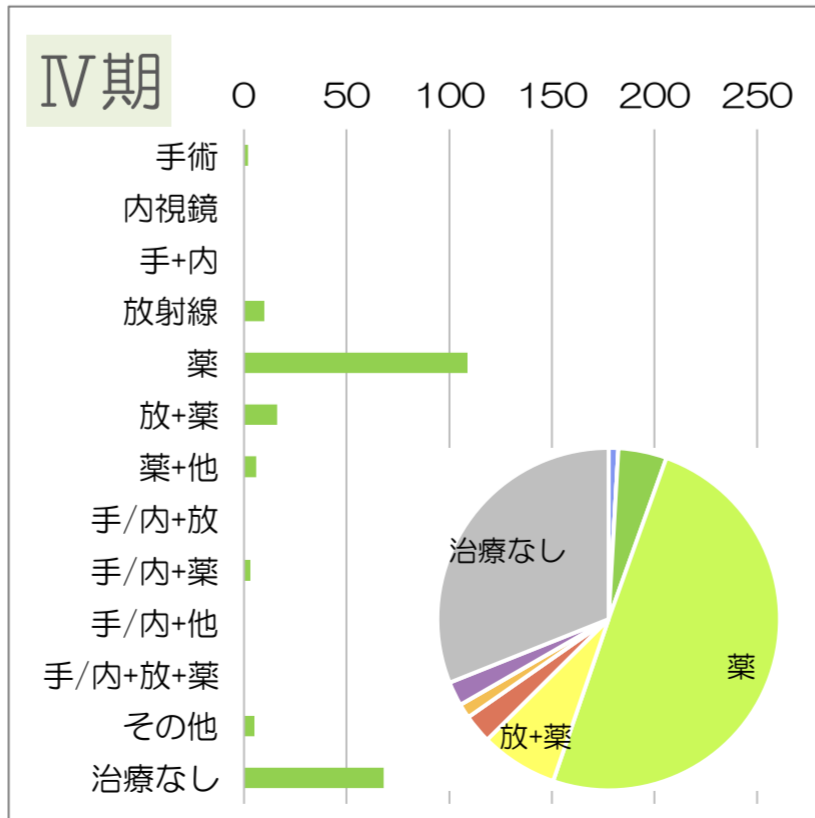
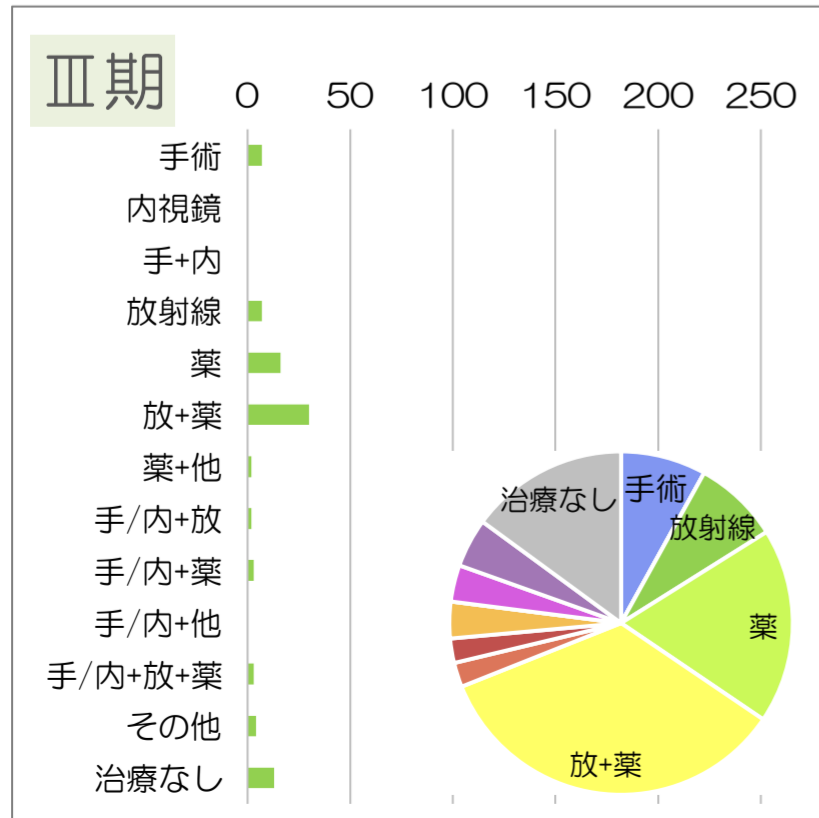
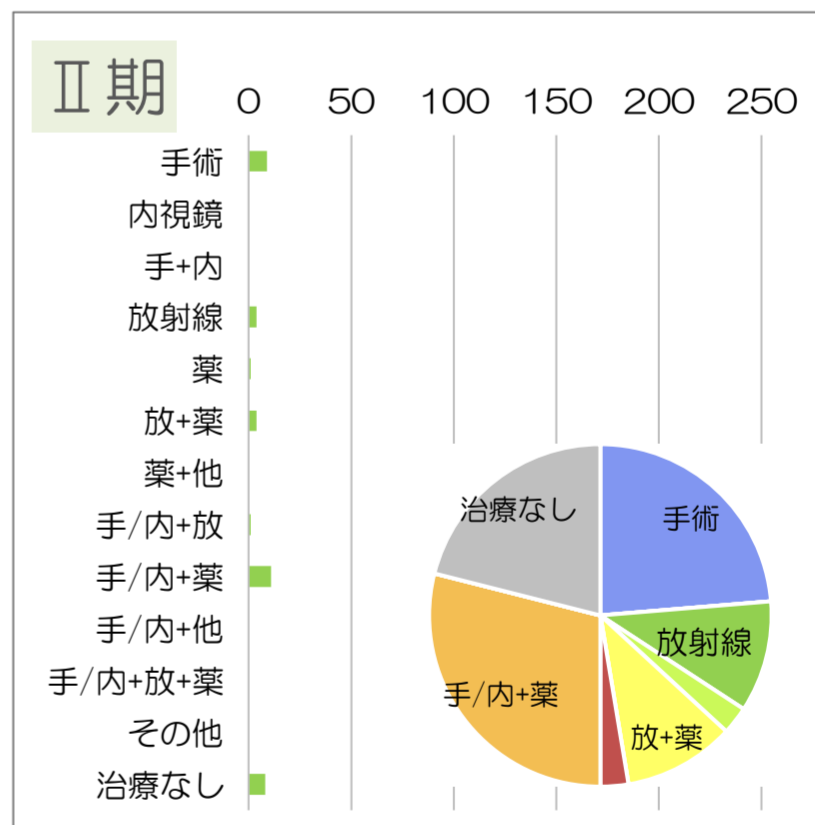
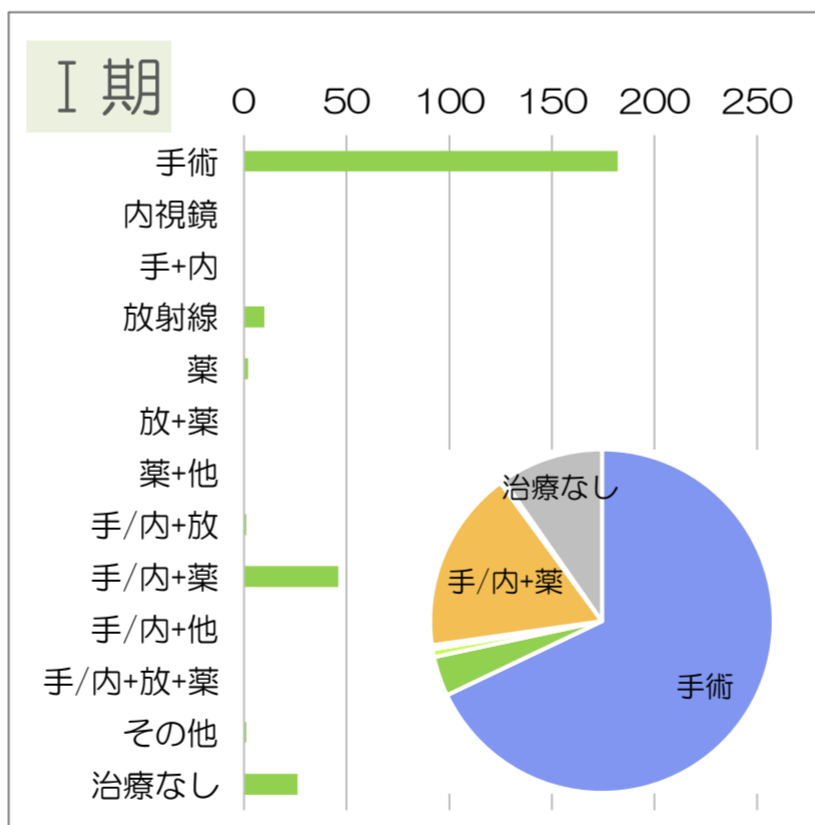
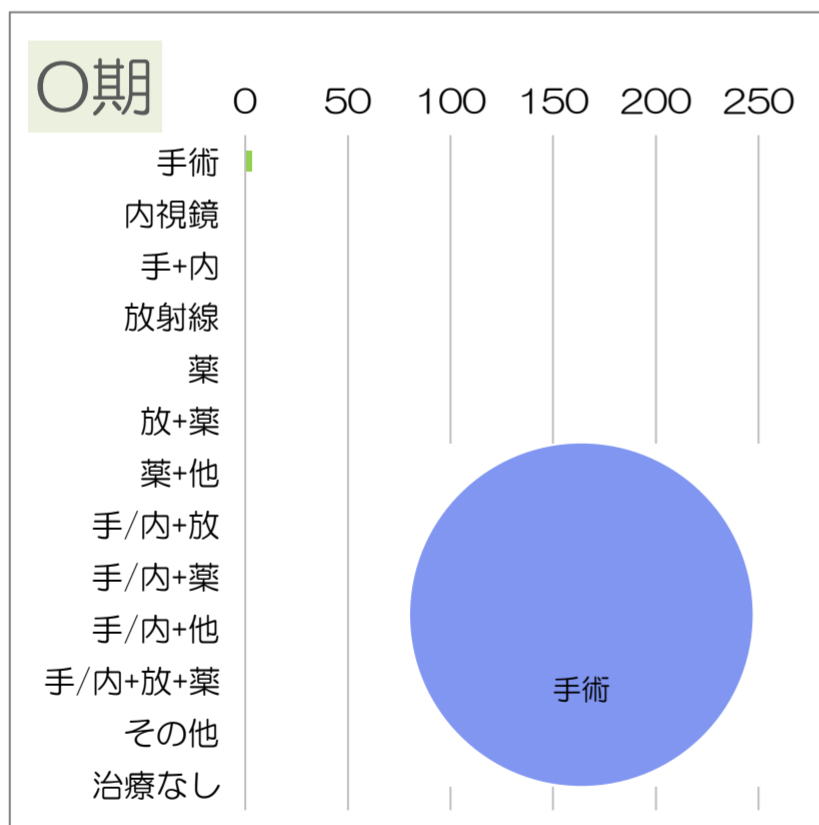
〇期	Ⅰ期	Ⅱ期	Ⅲ期	Ⅳ期	不明	合計
(1-3)	268	38	87	219	23	638

治療前ステージ別割合



* <ステージ別の集計数は（自施設で初回治療を行った症例）のみ>

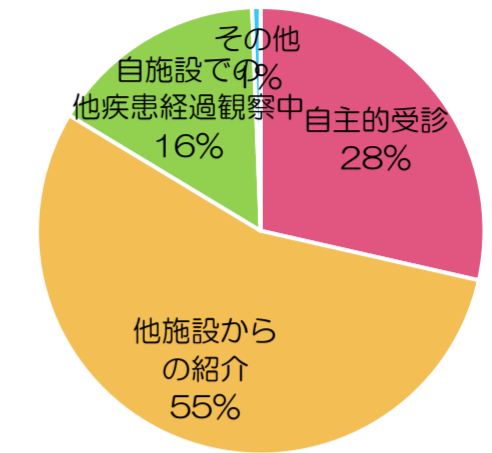
ステージ別治療方法



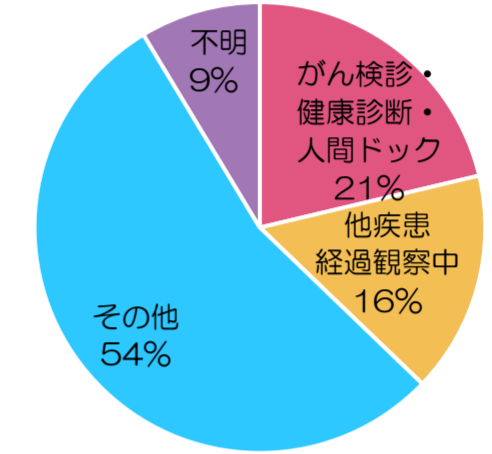
—乳房(2019)—

乳がんは、総数は648件、男性はわずかに0.2%で、女性がほとんどを占める。
 年齢階級別には、40-64歳が42%でほぼ半数を占め、その後年齢とともに減少する。
 ステージ別には、I期が41.3%で最も多く、次いでII期、III期の順。0期は9.1%、IV期は5.9%
 で最も少ない。
 ステージ別の治療方法は、0期では「手術/内視鏡+薬物療法」、I期～III期では、「手術/内視鏡+
 薬物療法」、「手術/内視鏡+放射線+薬物療法」、IV期では「薬物療法」と「放射線+薬物療法」、
 「手術/内視鏡+薬物療法」、の組合せで大半を占めるようになる。

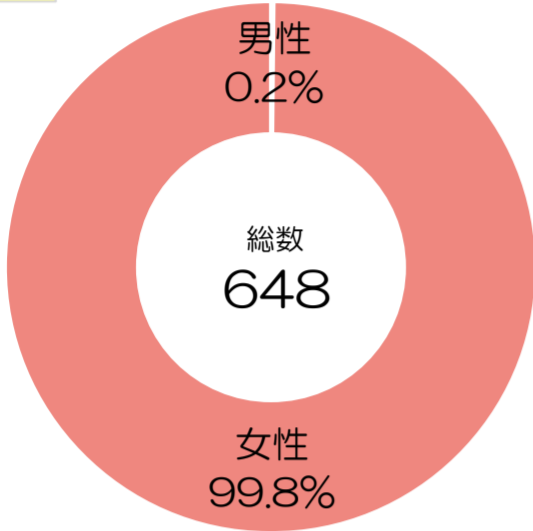
来院経路



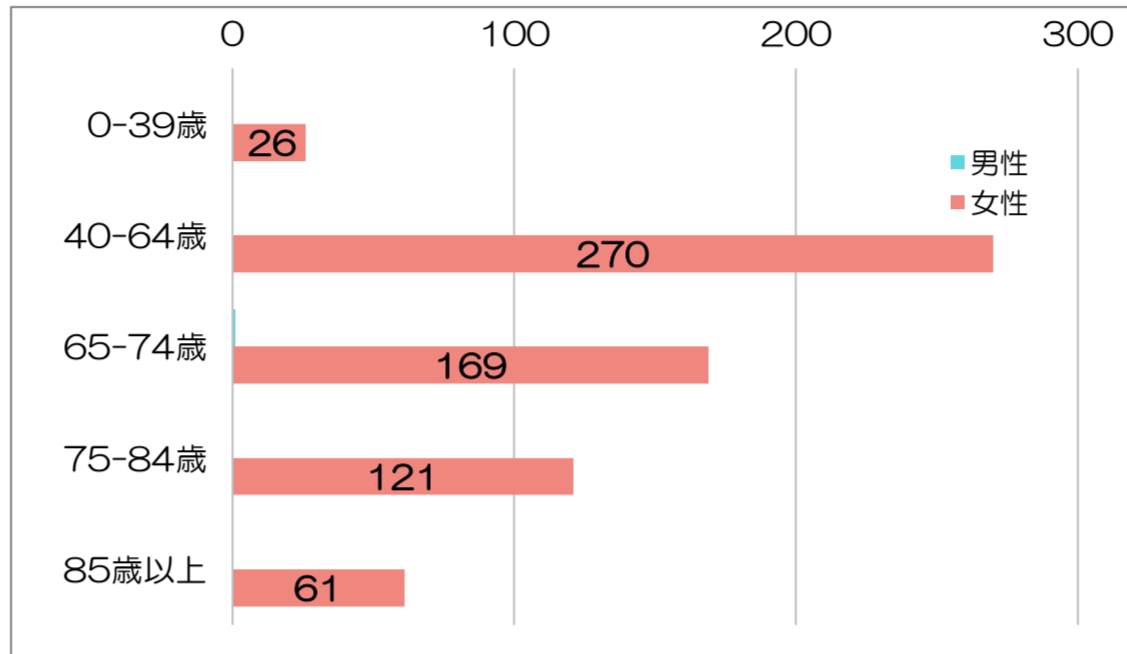
発見経緯



男女比



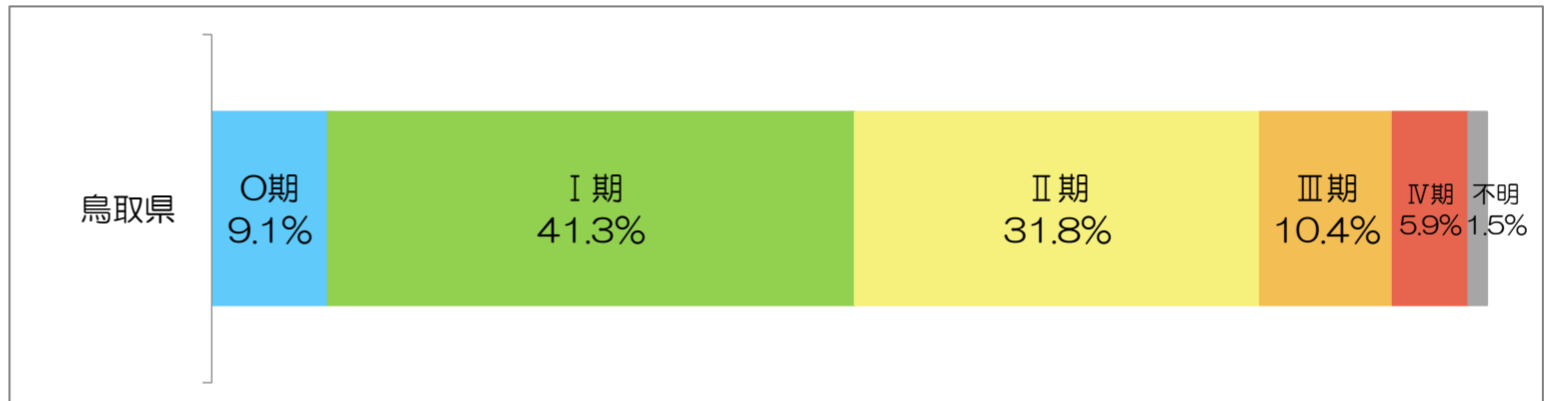
年齢別登録件数



治療前ステージ別登録数

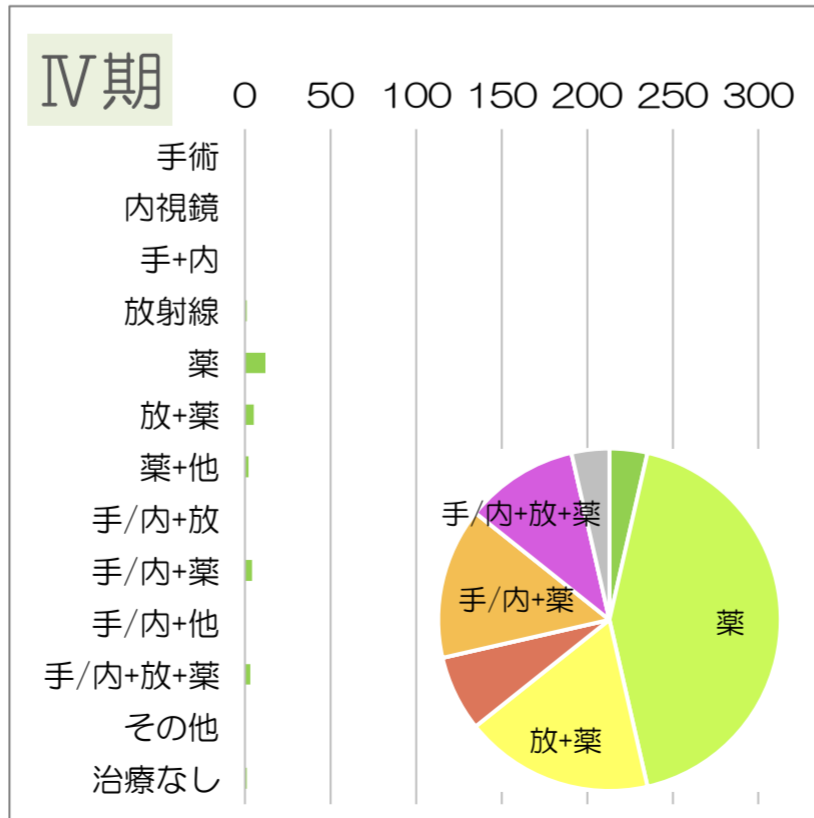
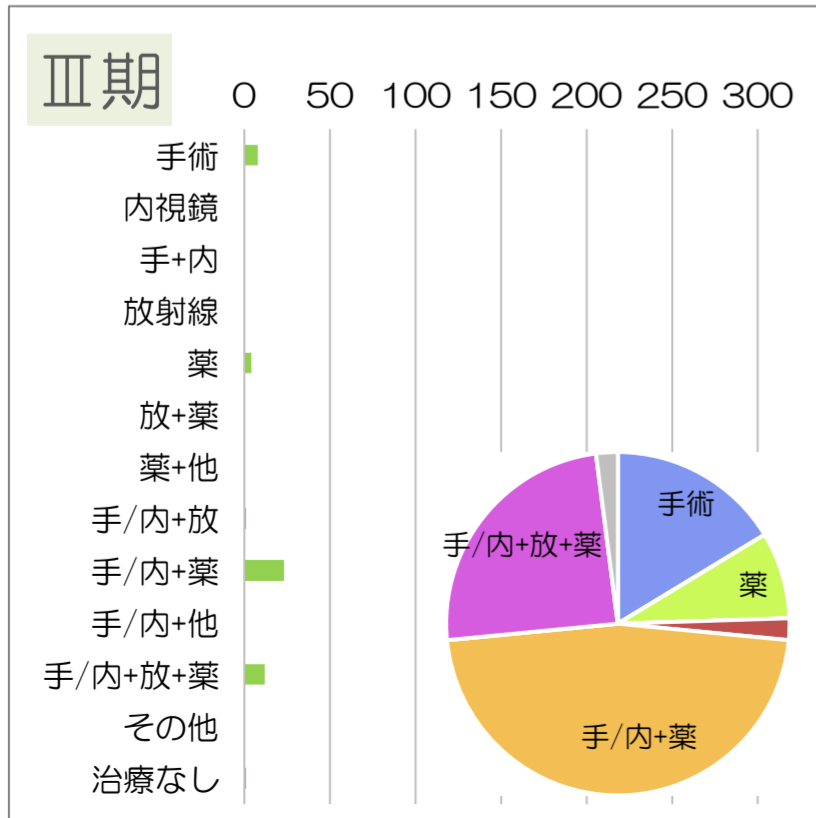
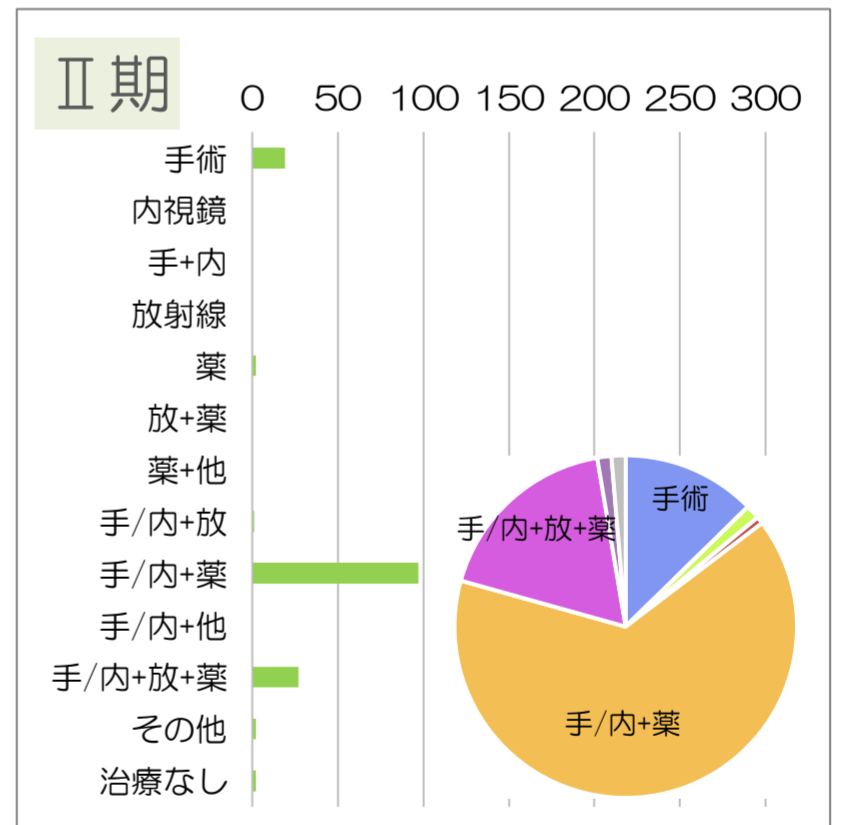
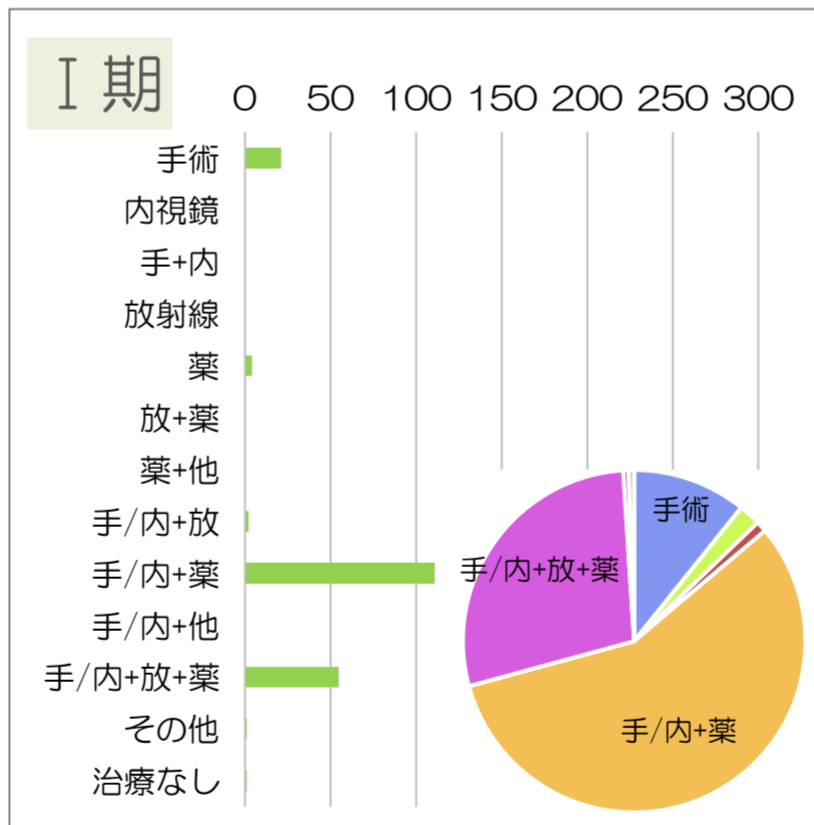
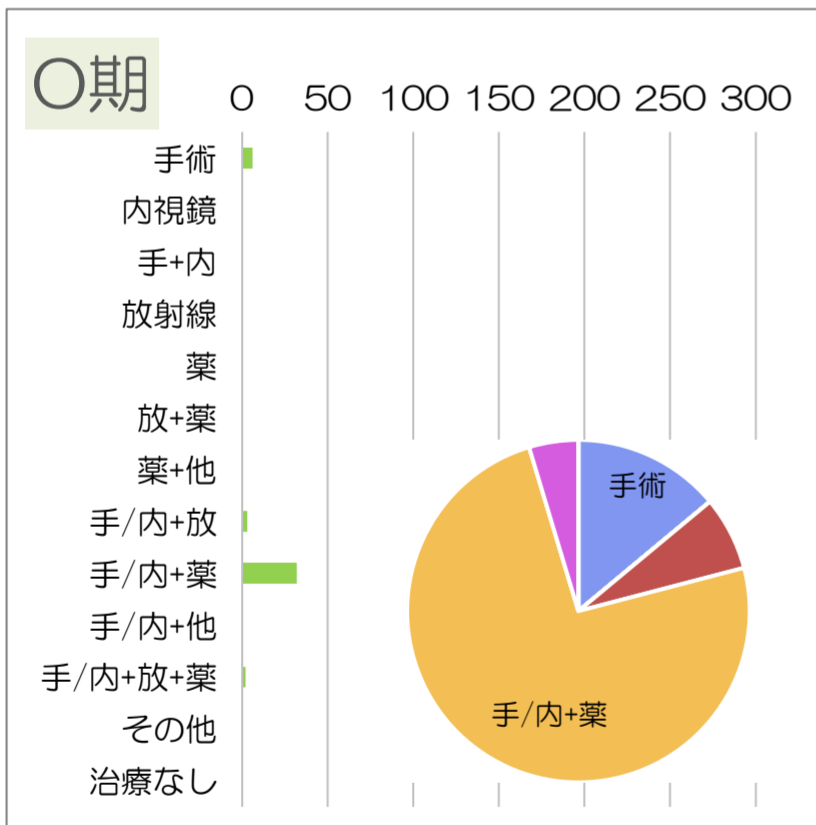
0期	I期	II期	III期	IV期	不明	合計
43	195	150	49	28	(7-9)	472

治療前ステージ別割合



* <ステージ別の集計数は（自施設で初回治療を行った症例）のみ>

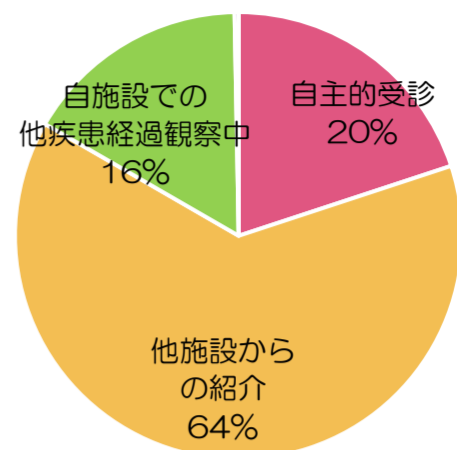
ステージ別治療方法



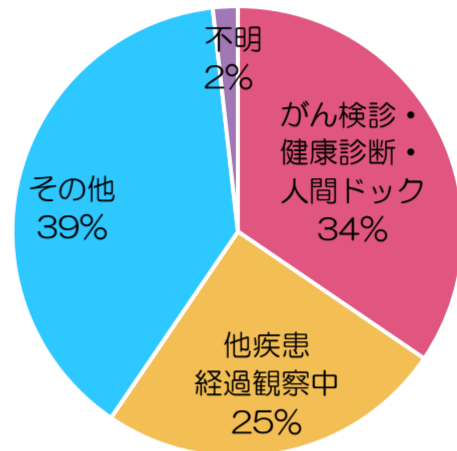
子宮(2019)

子宮がんは、総数336件、年齢階級別には、40-64歳が174件で最も多く、52%の半数を占めるが、40歳未満でも88件の26.2%を示す。
 ステージ別には、子宮頸部は0期が最も多く、子宮体部はI期が最も多い。
 ステージ別の治療方法は、0期では「手術」がほとんどで、I期では「手術」、「手術/内視鏡+薬物療法」で大半を占め、II期では「手術/内視鏡+放射線+薬物療法」、「放射線」、「放射線+薬物療法」が加わり、III期では、「放射線+薬物療法」がほぼ3/4を占め、その他「手術」と「放射線」が1/4、さらに、IV期では「治療なし」、「薬物療法」が加わり多様となっている。

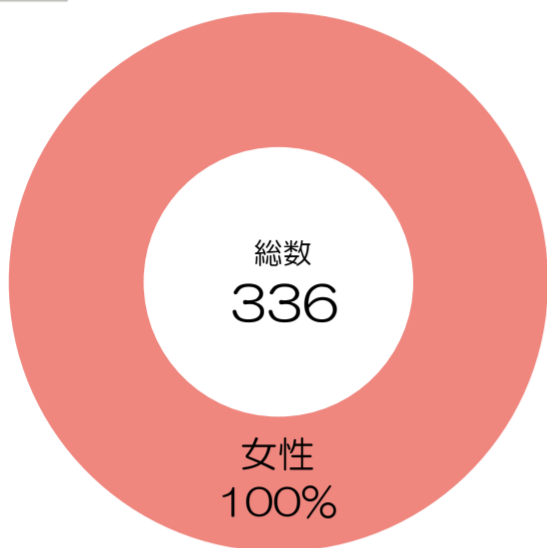
来院経路



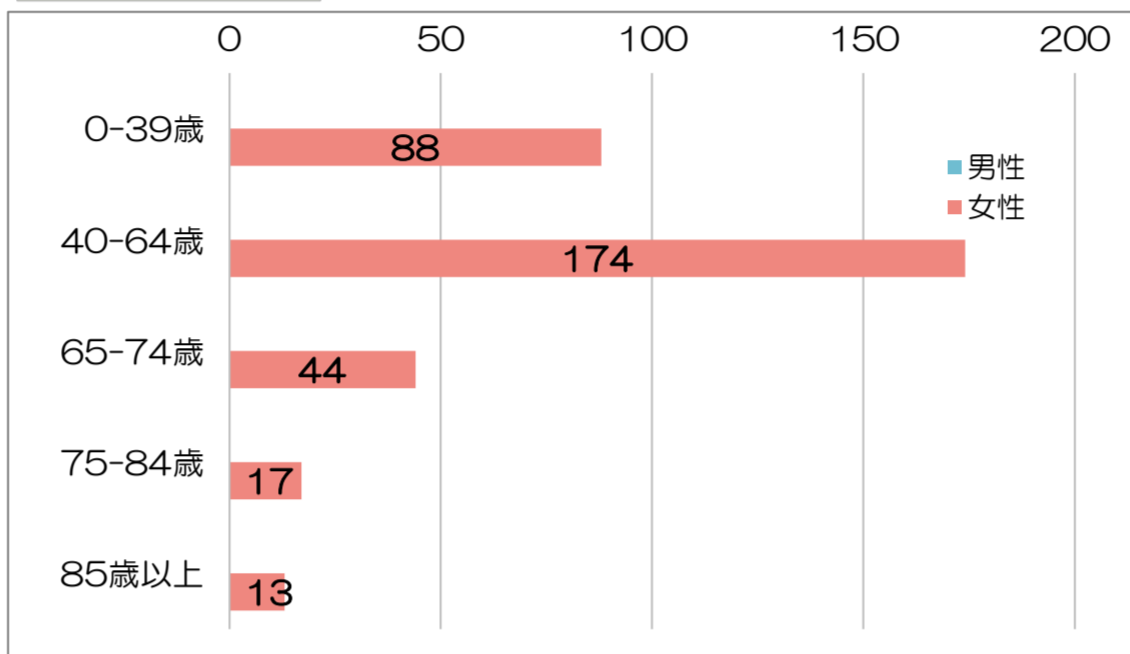
発見経緯



男女比



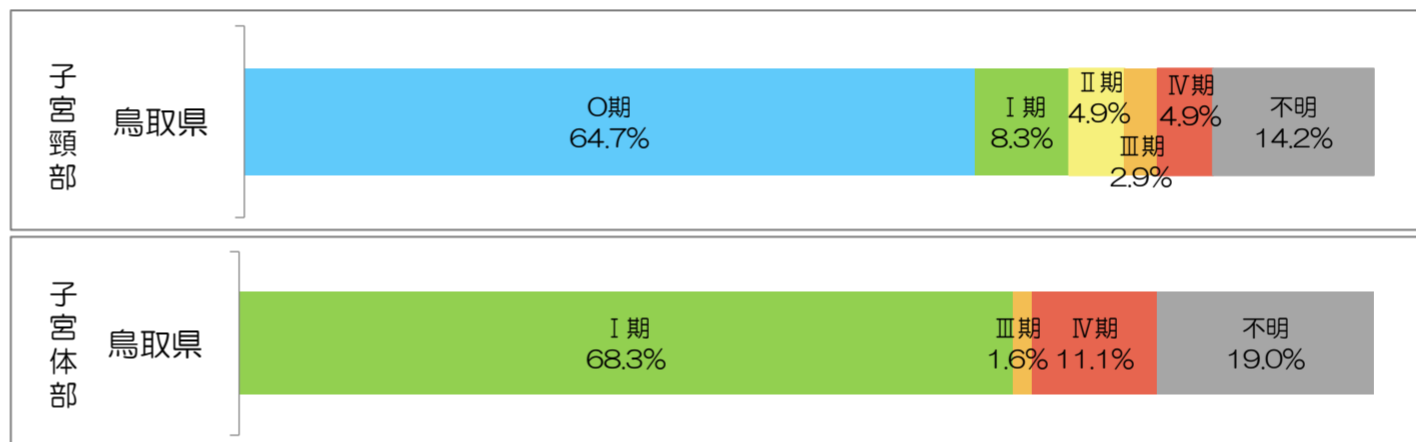
年齢別登録件数



治療前ステージ別登録数

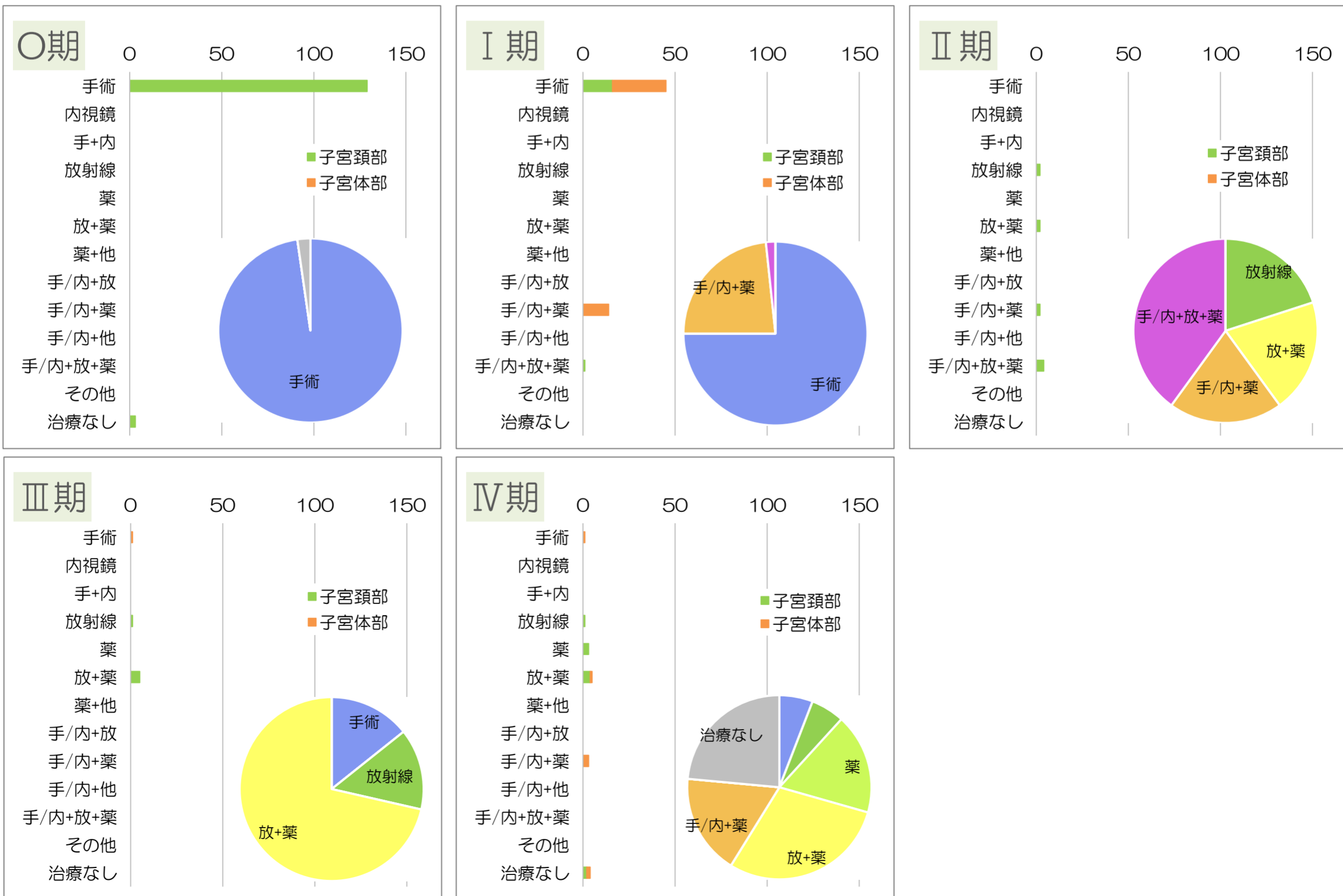
	0期	I期	II期	III期	IV期	不明	合計
子宮頸部	132	17	10	(4-6)	10	29	204
子宮体部	-	43	-	(1-3)	(7-9)	12	63

治療前ステージ別割合



* <ステージ別の集計数は(自施設で初回治療を行った症例)のみ>

ステージ別治療方法



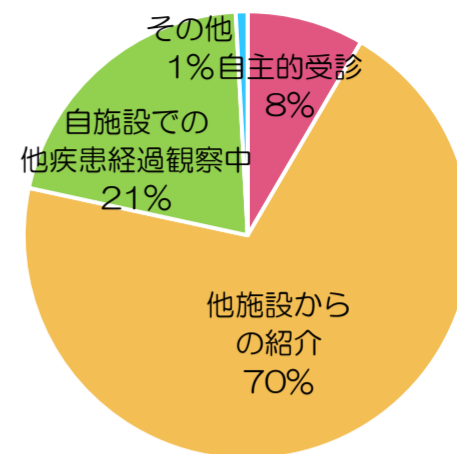
—前立腺(2019)—

前立腺がんは、総数699件、年齢階級別には、65-74歳は301件と最も多く、43%を占め、65歳以上は90%を示す。

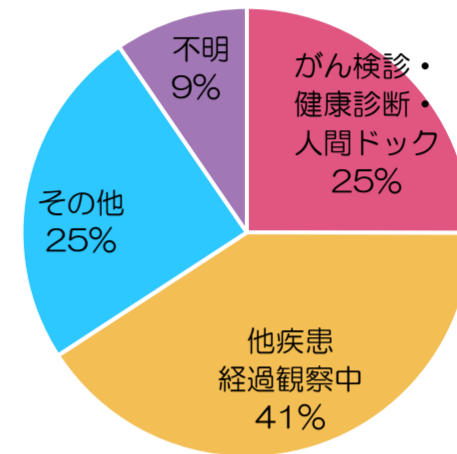
ステージ別には、Ⅰ期が最も多く、Ⅱ期、Ⅲ期、Ⅳ期の順となっている。

ステージ別の治療方法は、Ⅰ期では「薬物療法」、「手術」、「治療なし」で3/4、これに「放射線+薬物療法」や「放射線」が加わり多種多様、Ⅱ期では「薬物療法」、「手術」が大半を占め、Ⅲ期では、これに「放射線+薬物療法」が加わり、Ⅳ期では治療のほとんどが「薬物療法」となる。

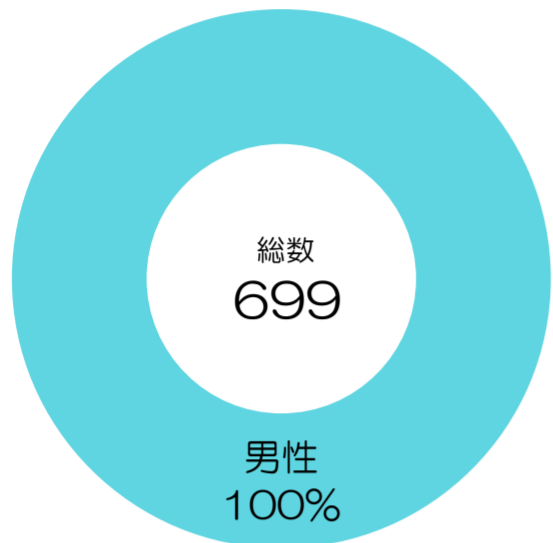
来院経路



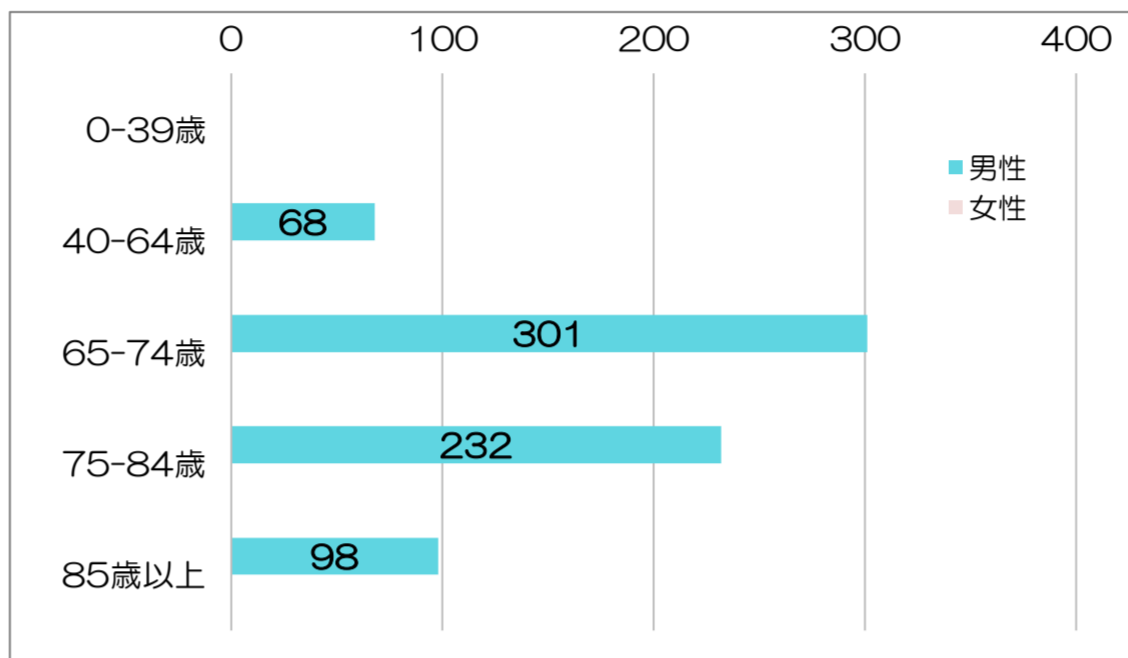
発見経緯



男女比



年齢別登録件数

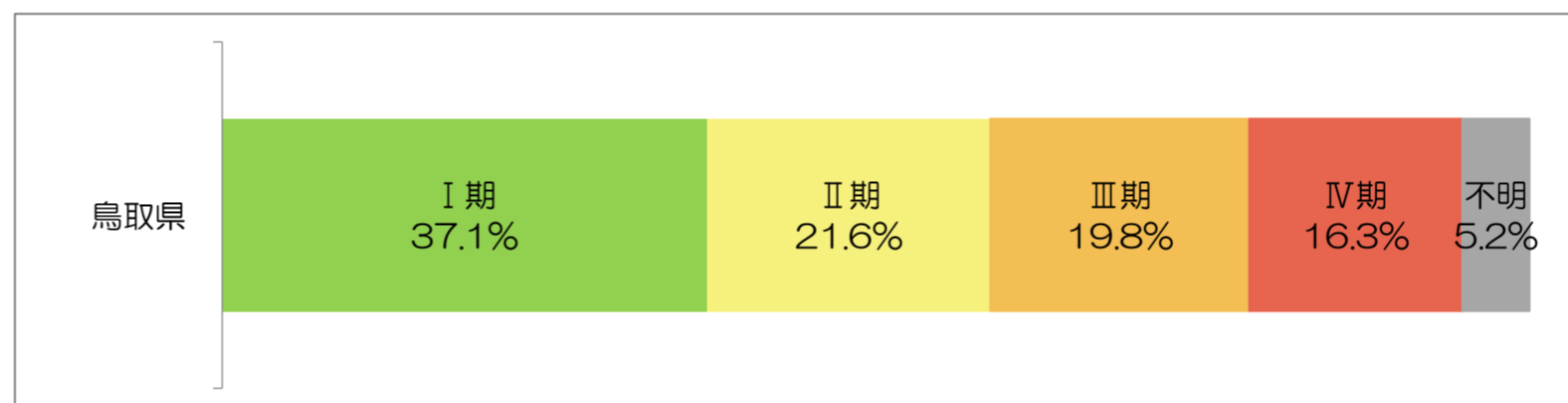


治療前ステージ別登録数

Ⅰ期	Ⅱ期	Ⅲ期	Ⅳ期	不明	合計
180	105	96	79	25	485

治療前ステージ別割合

* <ステージ別の集計数は（自施設で初回治療を行った症例）のみ>



ステージ別治療方法

